

## 沼津市男女共同参画推進委員会委員 意見書

委員	区分	該当箇所	意見や修正事項等
委員 A	全体を通じて（例えば基本的施策 6、7）	例えば具体的施策（14）～（17）	<p>全体的に“女性に対する支援”が多く見られる点においては良いと思っています。しかし、アンケートを鑑みたときに、女性の支援だけではなく特に高齢者や男性への意識改革も同様に必須と感じております。現状の体系図では、“男女共同参画の推進は、女性だけが頑張れば実現できる”ように感じてしまいました。実態はそんなに簡単なことではないと感じております。その根拠は、実体験を通してもちろんですが、アンケート結果報告書や、特に“第6次沼津市男女共同参画基本計画策定に向けて”の冊子において、例えば、pP23 にあるような「年代が上がるにつれて、育児は女性が中心に行う」という固定的な性別役割分業の意識が根強い」や、P16 にあるように「固定的性別役割分業の意識は男性に根強い」のなど記載されていることです。これだけ課題が浮き彫りになっているのであれば、対策を立てる必要があると思っています。そういった意識を持たないための教育は必要であることは当然のことですが（具体的施策（2）は良い施策と思います）、現状さまざまな意思決定の場や、社会においては、どうしても高齢男性がその立場にいることが多くあります。その方々の意識改革も同時に行うことで、少しでも早く男女共同参画を実現することができると思っています。</p> <p>特に基本的施策の6、7の具体的施策は女性に対するものしか施策がありません。この辺りに、例えば、管理職や男性に対する男女共同参画推進に向けた意識醸成という内容の施策があった方が良いのではないかと考えています。もしくは、具体的施策（1）や（18）に盛り込まれているということでしょうか？今一度、議論やご検討をお願いいたします。</p>
委員 A	具体的施策	（2）教育・保育の場での男女共同参画意識の醸成	<p>上記の通り、特に高齢者の方や男性への意識改革は未だに大きな課題と感じています。そのため、未来を担う子供たちはもちろんですが、高齢者の方や男性への意識醸成を行っていただきたいです。施策として追加するか、（2）の項目に追記するかはどちらでも構いませんが、高齢者や男性への意識改革に向けた施策を取り入れていただきたいと思っています。</p>

委員 A	具体的施策	(12) 家庭における男性活躍の推進	<p>①この具体的施策の“活躍”にこめる意義があれば教えてください。</p> <p>私個人としては、現状の私の家庭において、“私（女性）が活躍している”という意識はなく、ただただ、責任感のような感覚でやるべきことをやっているスタンスです（もちろん子供との時間は幸せなものではありますが）。そんな中で、家庭においてまず男性に求めることは、家事育児を協働してほしいということです。決して活躍して欲しいわけではなく、ただこの負担や現状を理解し、一緒に自発性を持って取り組んでほしいだけです。“活躍”といえば聞こえは良いかもしれませんが、アンケート結果から男性の家事育児時間も短いことが顕在化していることから、現状、家庭にきちんと参画できていないということがあると感じています。個人的には、「家庭における男性の参画推進」程度が良いと感じていますので、議論をお願いします。</p> <p>②①のような気持ちもある一方、“第6次沼津市男女共同参画基本計画策定に向けて”の冊子 P28 にもあるように、育休取得などにより「仕事や評価や配属に影響する」という現状もあります。実際、私自身も育休や時短勤務は大きなハンディになっていると感じることもあります。具体的施策（11）～（13）に働きやすい環境や支援があることは良いと思いますが、この施策に「仕事や評価や配属に影響する」ことへの不安を解消するような施策は含まれていますか？</p> <p>例えば、評価や人材確保に対する考え方や仕組みや業務の見直しや、管理職や職場の方への教育や意識醸成も必要と考えているので、どこかの施策に盛り込まれているようであれば、教えてください。</p>
委員 B	横断的視点	③PDCA サイクルを実現できる目標指標の設定	PDCA サイクルより OODA の活用の方が効果的ではないか
委員 B	基本的施策	5 ワーク・ライフ・バランスの推進	ワーク・ライフ・バランスの説明付記しては？ 仕事と生活のバランス等